

THE 対談

4月末、都内某所にて行われた早慶戦対談。4年間チームの主力としてコートに立ち続ける6人が、最後の早慶戦に向けての思いを語る。早慶としてある意味一つのチームのように4年間で過ごしてきた6人。要所要所で仲の良さを伺わせる、大変和やかな雰囲気の中進んだ。



「コートの外では…？」

——みなさんのキャラクターを知りたいのですが、チームメイトがどんな人なのか教えて頂けませんか？

酒井：じゃあ早稲田から。

井手：相井は腹黒くて、秘密主義で…。

金井：適当で…。

相井：なんでやねん！比較的眞面目やと思うけどな。

井手：責任感が強くて、誰とでも話せてチームをまとめられる存在。キャプテンに適任だよな。

——金井さんはどんな人ですか？

井手：賢治は適当で。

相井：天の邪鬼だよな。本当はそう思ってないのに違うことを言っちゃみたいなの。

井手：シャイなんだよね。意外と恥ずかしがり屋さんなんだよ。あと勉強が出来ない(笑)。でもなんだからで愛されてるんだよな。

相井：適当でもみんなに大事にされてるよね。

金井：もう恥ずかしいから(笑)

——井手さんはどんな人ですか？

井手：僕はまあ、眞面目で…。

金井：井手は適当で、根暗で…。

井手：根暗は違う(笑)。もっといいところ言って。

相井：負けず嫌いかな。

井手：それはある。

相井：Bチームに負けるのとかが嫌だし、1対1とかで負けるのも嫌だよな。それがプレーに出てる。

慶應×早稲田

金井：まあ、眞面目で授業眞面目に出て、僕の授業も全部組んでくれました(笑)。

——では慶應の皆さんに。面白い方はいますか？

二ノ宮：祐典は天然で面白いってよく思われるんですけど、実はいつもウケを狙っていて、よく言えば賢くて計算高く、悪く言えば腹黒い(笑)。でもバスケットになるとすごい責任感があって、練習を眞面目に取り組む姿勢もあり、頼れる存在です。ただ、練習中に独り言が多くて何を言っているのかよく分からない時もあります。後輩は怖がっている人もいれば、変な人だなと思っている人もいます。

酒井：それも計算です(笑)。

——次は岩下さんについて教えてください。

酒井：誰とでも喋れて、学校の中では女の子からチャホヤされ、男からも人気ですね。自分から絡みにいけるのでどこに行っても人気者です。

二ノ宮：やっぱりデカイんで、皆その話題から入るんですけど、普通はそれだとあんまり会話が弾まなさそうじゃないですか。でも岩下は人柄がいいんで、すごく印象が良い。

酒井：友達がすごく多い。

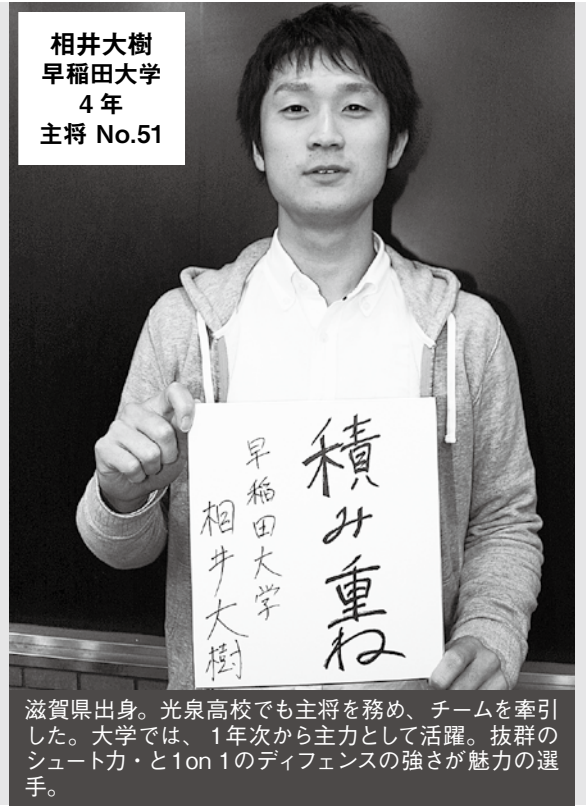
二ノ宮：そう、とにかく第一印象がメチャクチャいい。

——最後に二ノ宮主将について

酒井：賢い(笑)。

二ノ宮：お前言わなくていいよ(笑)。

岩下：巷では『こどもキャプテン』と呼ばれているらしいんですけど、考えがすごくしっかりしています。最近では人前で喋ることに慣れてきて、キャプテンシーを発揮してくれているし、とにかく頼れる存在です。



相井大樹
早稲田大学
4年
主将 No.51

滋賀県出身。光泉高校でも主将を務め、チームを牽引した。大学では、1年次から主力として活躍。抜群のシュート力・と1on1のディフェンスの強さが魅力の選手。

「最近の両チーム」

——ここまでの早稲田について教えてください。新チームがスタートしてから数カ月。練習試合も何試合かこなしてチームの形もだいぶ見えてきたのでは？

井手：何試合かやってきたけど、うちはムラがありますね。去年以上にかみ合ったときの力はあると思うんですけど。トーナメントでは絶対にベスト4にはいきたい。そして決勝にいきたい。というか俺はいける気がする。

相井：いい状態でプレー出来たらいいけど。悪くなったときにガーって崩れちゃうんだけど。相手チームがどうこうというよりは、前期ということもあるし、いかに自分たちのプレーが出来るかだよな。そ

THE 対談

こを目指していけばいい結果ができるんじゃないだろうか。

—慶應はどのようなチームですか？

二ノ宮 : まだ課題が山積みで、全然だめです。けど逆に言えば伸びしろが大きいので、これからの取り組み次第ではすごいチームになると思います。

岩下 : やっぱり世代交代したんで、僕ら既存の中心選手が新戦力を生かせるようなチームにしたい。そこが上手く機能すれば、進化出来るチームだと思うので、しっかりと取り組みたいです。

酒井 : 岩下が言ったように、可能性があるチームだと思います。これから京王電鉄杯や関東トーナメントがあるので、そこでいかに周りを生かすプレーを出来るかが勝負だと思っています。

「最後の早慶戦を迎えて」

—今年は早慶戦の場所が代々木第二体育館ではなく、日吉ですね。少し残念な気持ちはあるかな？

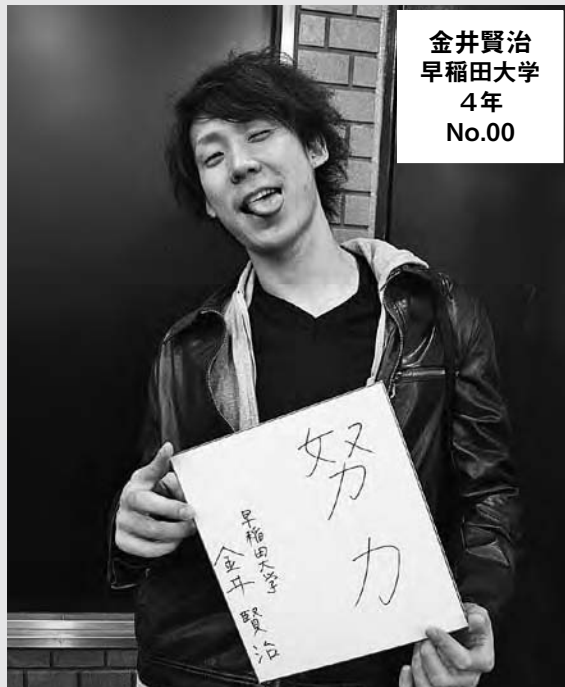
相井 : あーそれはありますね。

井手 : アウェーじゃん。怖くてシュートとか打てない。俺、繊細だよ(笑)。

岩下 : 個人的には代々木でやりたかったんですけど、最後の年がホーム開催ということで、友人からなにかから集めて慶應一色にして勝ってやろうと。

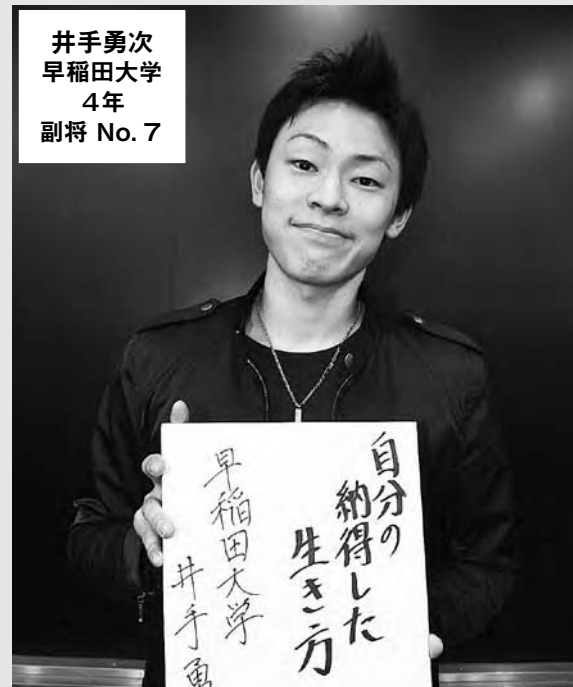
二ノ宮 : 全てで慶應一色にして去年の雪辱を晴らせるように頑張りたいです。

酒井 : これ同じことしか言えませんよね(笑)。ただ勝利そこだけに集中したいです。



金井賢治
早稲田大学
4年
No.00

大阪府出身。東山高校時代は全国大会に出場しなかったものの、国体で京都チームの一員として全国で活躍。3Pからインサイドまでこなし、圧倒的な得点力を持つ。早稲田においても1年時から活躍。



井手勇次
早稲田大学
4年
副将 No. 7

埼玉県出身。北陸高校ではインターハイ優勝時の主力として活躍。1年次からスタメンとしてプレーし、チームNo. 1の勝負強さを持っている。

慶應×早稲田

—早稲田は今年どんなチームですか？

井手 : プレスタイルがないよね。

相井 : たぶん慶應は24秒を使わずに割とはやく攻めてきますから、うちは逆に24秒いっぱい使って攻めてリズムを狂わせる。つまり相手のにあわせて嫌なことを嫌なことをしていくってのがスタイルかな。万能って言えば聞こえがいいけど、チームカラーがないのかな。

—慶應とはどのように戦うのか？

相井 : 慶應はみんなシュートを打ってくると思うけど、やっぱり中心になるのはこの3人ですよ。だからこの3人を抑えればうまくいくのではと思っています。

井手 : まあね。理想は全部抑えることなんだけど。リズムというか中心となる場所があるのでそこを狂わせればね。まあ、それが難しいんだけど。

—では慶應側が早稲田にどんなイメージを抱いているのでしょうか？

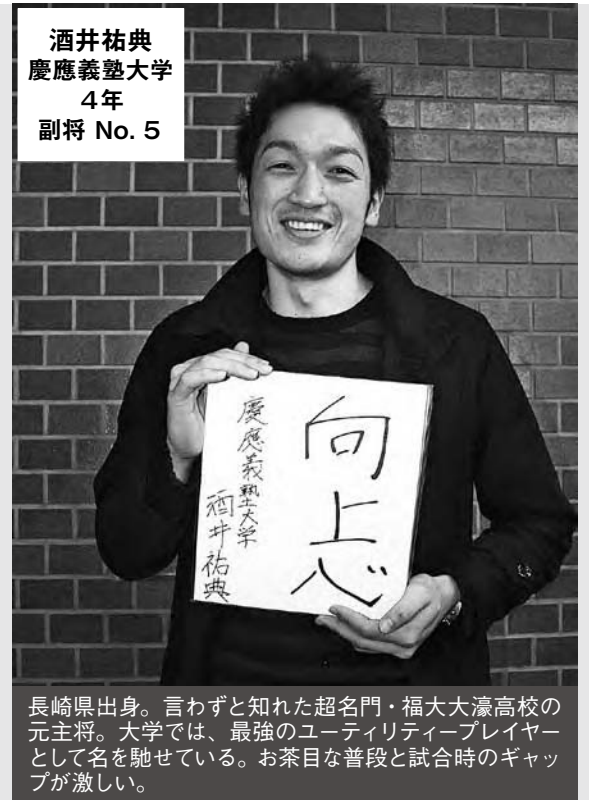
二ノ宮 : 4年生主体というか今年力入れてると思うんで、相当の強い気持ちで臨んでくると思うんですけど、こっちもそれ以上に頑張りたいです。

岩下 : それなりにポテンシャルがあるチームで勢いに乗ったら相当やっかいですね。

まあ最初から叩き潰せば問題ないと思います。

酒井 : 早稲田のイメージは井手君一人ですね(笑)。去年も最後にやられたんで、あれを止めるために1年やってきたようなもんですよね(笑)。真面目に答えるとシューターが多いですね。インサイドは久保田ぐらいなので。戦い方としてはインサイドは岩下に任せて、僕たちはシューターをいかに抑えるか。それが勝敗に繋がっていくと思います。

—では早稲田と戦う上でどういうことを考えてい



酒井祐典
慶應義塾大学
4年
副将 No. 5

長崎県出身。言わずと知れた超名門・福大大濠高校の元主将。大学では、最強のユーティリティープレイヤーとして名を馳せている。お茶目な普段と試合時のギャップが激しい。

るのでしょうか？

酒井 : 今年は去年のような接戦な展開にもっていかれたらやられそうなので、できるなら(点差を離して)勝ちたいです。

井手 : 僕らも離したい(笑)。

酒井 : たぶんそんなにうまくはいかないんだよね(笑)。

—早稲田が慶應で警戒したい選手は誰ですか？

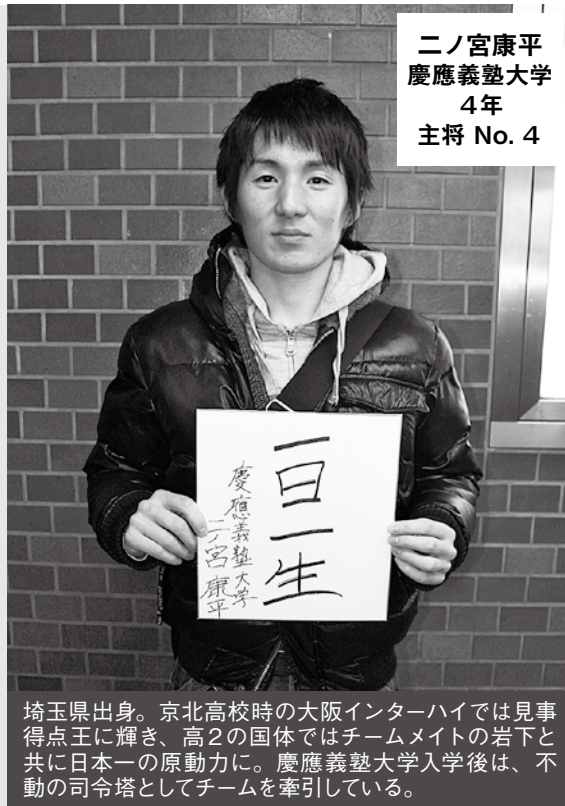
井手 : 酒井。

金井 : 酒井やー。

酒井 : 早稲田は井手君ですかね。去年も最後にやられていますし。

金井 : あーそれ去年二ノ宮が出てきたから、井手が空いたんや。俺どうしようかパニックってた。東さんにボールわたして、もうボールもらいたくなか

THE 対談



二ノ宮康平
慶應義塾大学
4年
主将 No. 4

埼玉県出身。京北高校時の大阪インターハイでは見事得点王に輝き、高2の国体ではチームメイトの岩下と共に日本一の原動力に。慶應義塾大学入学後は、不動の司令塔としてチームを牽引している。

ったのにまたきてさ(笑)。で酒井を抜こうとしたら二ノ宮がきてヤバいと思ってたんだよね。

井手 : 俺待ってたから(笑)。まあ、酒井は仕事人ですよ。

酒井 : ワタクシ、その井手君のスリーポイントの後に、同じように逆転のチャンスがあったのに決められなかった…。

早稲田一同 : あーあせった、あせった(笑)。

——酒井さんは実際に対戦してみてどうですか？

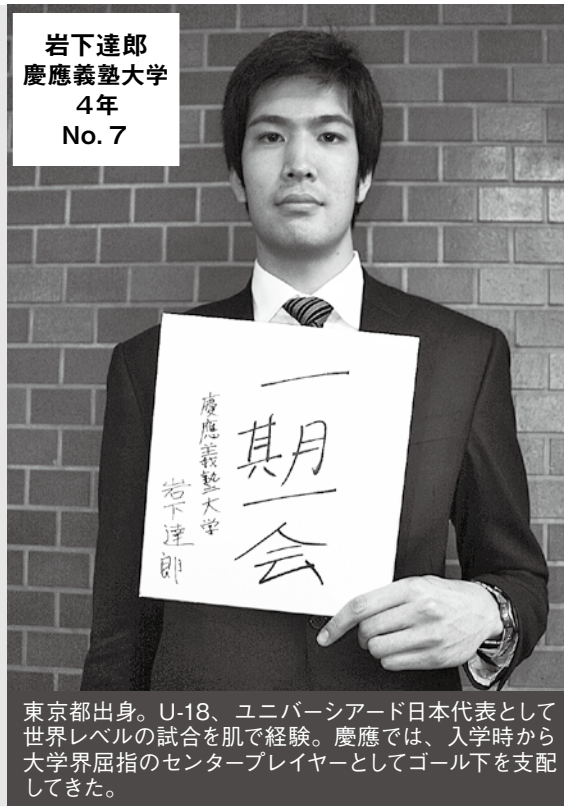
井手 : ウザイ、だるい(笑)。

相井 : あと、重たい。

早稲田一同 : おっさん(笑)。

井手 : やっぱり厄介なプレーヤーという感じ。見た目はカッコイイ…そんな嘘つけねえや(笑)。

相井 : 地味だけど、リバウンドやルーズボールと



岩下達郎
慶應義塾大学
4年
No. 7

東京都出身。U-18、ユニバーシアード日本代表として世界レベルの試合を肌で経験。慶應では、入学時から大学界屈指のセンタープレイヤーとしてゴール下を支配してきた。

か1番重要なところを担っている存在。

井手 : 酒井がいるのといないとでは全く違う。去年はファールで下がってくれて助かった。あれが大きかった。あと二ノ宮もなんだかんだで勝負どころでシュートを入れてくるから、やっぱり二ノ宮もつぶしたい。酒井と二ノ宮のどちらかをコートから追い出せたら流れはくるんじゃないですか。

——では慶應が早稲田で一番警戒すべきは誰でしょうか？

岩下・二ノ宮 : 久保田…得点源ですから。

酒井 : 去年もあいつにインサイドでやられて悪いリズムになってしまった。同じ高校なんであいつにやられるとむかつくんですけど(笑)。個人的にはガードには負けたくないです。

——と慶應は考えているようですが、早稲田のキー

マンになってくるのは？

相井 : やはり久保田かなと。

井手 : それはある。やっぱあいつがいいとチームの調子も変わってくる。河上や二宮が今年が入ってきたけど、久保田の高さはなんだかんだいってね。1年生とはやってきた経験が違ってると思う。こちらの要求することが分からない部分もあると思う。そういう意味でやっぱり久保田には40分出てほしい。

相井 : 相手にも応じてだよ。小さいチーム相手だったら、1年生とか小さいメンバーでもいいかもしれないし。

——では慶應のキーマンは？

二ノ宮 : 家治…。

金井 : じゃあ俺家治とマッチアップしよ(笑)。

酒井 : でも僕たち三人ですね。いかに周りを生かせるかだと思います。

慶應×早稲田

「伝統の早慶戦」

——早慶戦はやっぱり特別ですか？

岩下 : 盛り上がりが本当にすごいです。

酒井 : チームとしての公式戦とは違って定期戦として早慶戦勝利を目標に掲げるくらい大切にしています。思い入れは本当に強いです。

——早慶戦に懸ける意気込みは？

井手 : ちょっとまだ時期が早いよな。先にトーナメントがあってもどうしてもそっちを考えると…。

相井 : 早慶戦は負けられない試合。時期が近づいてくればくるほど早慶戦の重みとかっていうのは感じてくると思います。そうなった時に4年生がどう思うのかが勝利に関わってくると思います。まず今はトーナメントで1つ1つ課題をクリアしていったら早慶戦につなげていきたい。

二ノ宮 : 去年初めての負けを味わってどの大会で負けるより悔しかったんで絶対に勝ちたいと思います。

岩下 : もうあんな思いはしたくないんで、絶対勝ちます。

酒井 : 春シーズンの最終目標として慶早戦に勝つと決めているのでチーム一丸となって早稲田をぶっ潰します。

